

## 1. 自己評価及び外部評価結果

作成日 令和元年10月3日

## 【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	4670104068
法人名	有限会社 健真
事業所名	グループホーム すずらの家
所在地	鹿児島県鹿児島市平川町1547番地 (電話) 099-284-2655
自己評価作成日	令和元年9月10日

※事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度のホームページで閲覧してください。

基本情報リンク先URL	<a href="http://www.wam.go.jp/content/wamnet/pcpub/top/">http://www.wam.go.jp/content/wamnet/pcpub/top/</a>
-------------	---

## 【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	NPO法人自立支援センターかごしま福祉サービス評価機構
所在地	鹿児島県鹿児島市星ヶ峯四丁目2番6号
訪問調査日	令和元年9月28日

## 【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

- ・午前、又は午後軽体操で体力を保っている。
- ・洗濯物たたみを利用者と職員と共同で行っている。
- ・本人の希望を考慮し、外出支援を行っている。
- ・季節(月毎)に応じた事業所内の掲示ものや飾り物を利用者と職員と共同で作成している。

## 【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

- ・当事業所は、同法人のデイサービスセンターが近くにあり、散歩の時に立ち寄り話をしてもらったり、お互いに楽しんでいる。
- ・自治会に加入し、夏祭りや校区の運動会に出かけている。事業所の敬老会にはボランティアの訪問があり、地域との交流を図っている。他施設とのふれ合いや高校実習生の受入れ等を行い、事業所の力を活かし地域貢献をしている。
- ・外出計画を作成し、水族館や動物園・錦江湾公園・イベントの見物・外食等に出かけている。
- ・野菜収穫・軽体操・生活リハビリ等、個々の力量に応じて取り組んでいる。
- ・家族へ2ヶ月毎の近況報告と職員の優しい言葉を添えて便りをだしている。
- ・施設長や管理者は職員の資質向上を図り、外部研修・内部研修・講習会等の参加支援を行っている。職員は自己研鑽に励み、目標に取り組んでいる。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>I. 理念に基づく運営</b>					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員はその理念を共有して実践につなげている	常に職員が理念を意識するようにホール、事務所に掲示し、利用者と共に共有できるよう、心掛けています。職員会議の場でも理念についての話も行っています。	法人の基本理念と、グループホームの理念があり、ホール等に掲示し、パンフレットに記載している。毎月の職員会議で振り返り、ケアの確認をして、職員間で共有しケアの実践につなげている。	
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	代表者が町内会に入会しており回覧板にて行事も早く知る事が出来、鏡開きやお茶会等の行事にも参加したり、園内で行う敬老会、花見等に地域の老人会に来ていただいております。時折、障害者施設より訪問にも来ていただいております。	町内会に加入し、回覧板で地域の情報を得て、夏祭りの参加や地区の運動会に出かけている。敬老会にはフラダンスのボランティアや地域の敬老会の参加や、高校生の実習も受け入れている。園外散歩で地域住民と日常的に交流している。	
3		○事業所の力を生かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて生かしている。	運営推進会議や地域行事の参加等を通して認知症の人の理解をして頂けるように努めています。		
4	3	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	2ヶ月に一度のペースにて会議を行っており、様々な意見を参考にさせていただき、その中からサービス向上に役立つ取り組みを実施しています。	2ヶ月毎に開催している。入居者の状況・行事予定や報告・ヒヤリハット・外部評価結果報告を行って話し合っている。地域包括支援センターの職員から、情報やアドバイスを受け、サービス向上に活かしている。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
5	4	<p>○市町村との連携</p> <p>市町村担当者と日頃から連携を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる。</p>	<p>市担当者の方とは、書類関係等で話し合い、地域包括支援センター職員とは空き情報等で連携を取り合って協力関係を築いております。運営推進会議にも出席いただき、その都度多用な事を相談している。</p>	<p>市担当者とは書類更新の時、窓口に出向いたり、電話で相談や取り組みを伝えアドバイスを貰っている。運営推進会議の時も地域包括支援センターの職員から情報や助言を得ている。福祉課とも連携を密にとり、協力関係を築いている。行政主催の研修会には積極的に参加している。介護相談員も受け入れて相談にのって貰っている。</p>	
6	5	<p>○身体拘束をしないケアの実践</p> <p>代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる。</p>	<p>特に会議のみでなく、常々職員間でも話し合っており、特に入居者外泊及び帰園後、入浴時が一番判断しやすく、万が一あった場合は家族に詳細を聞く様心掛けています。又、日中のケア時は一人にしないように声かけを行っています。</p>	<p>身体拘束廃止委員会があり、マニュアルを中心に定期的に勉強会をしている。玄関の施錠はしていない。外出したい時は、職員が同行して気持ちが落ち着くまで付き合っ、身体を拘束しないケアに取り組んでいる。</p>	
7		<p>○虐待の防止の徹底</p> <p>管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている</p>	<p>特に会議のみでなく、常々職員間でも話し合っており、特に入居者外泊及び帰園後、入浴時が一番判明しやすく、万が一あった場合は家族に詳細を聞く様心掛けています。又、日中のケア時は一人にしないように声かけを行っています。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用  管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している。	自立支援はもちろんの事、後見人制度については、社長、施設長が勉強されています。又、同系列のディサービスで成年後見人制度を活用しており、担当の後見人の方とも常に相談しています。		
9		○契約に関する説明と納得  契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている。	契約時に具体的な説明をし、本人、家族と事前面談を行っています。特に急変時対応を理解していただくようにしております。		
10	6	○運営に関する利用者、家族等意見の反映  利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている。	ご利用者の不満、苦情があった場合には管理者や職員は家族の方へ連絡し、家族の方の声及び意見を参考にし反映させています。苦情処理委員会を設け、玄関に意見箱を設置して投函していただくようにしております。	本人からは日常のケアの中で声かけして、意見や要望を聞いている。動作から判断する場合もある。家族からは、面会の時等に思いを把握している。利用者が異常の厚着をして、医師に相談し対応した事例がある。	
11	7	○運営に関する職員意見の反映  代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている。	職員会議や業務時などで職員の意見や提案を聞くようにし、運営に反映しています。また必要に応じ、代表者や管理者から職員への意見の問いかけも行っています。	管理者と職員とは日常的にコミュニケーションがとれて、意見や提案を言いやすい雰囲気がある。ケアの方法や声かけの意見や提案があり、職員で情報を共有し運営に反映させている。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
12		<p>○就業環境の整備</p> <p>代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている。</p>	<p>職員の離職をなくするよう努めています。勤務状況もなるべく本人希望休みも聞き入れ、毎年少量ではあるが昇給も行っています。</p>		
13		<p>○職員を育てる取り組み</p> <p>代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている</p>	<p>施設内勉強会、各方向からの研修、講習会に参加しており、報告書を提出させて発表の場を作りサービス向上を図っています。</p>		
14		<p>○同業者との交流を通じた向上</p> <p>代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている</p>	<p>谷山南部地区開催の勉強会に参加し、その中で同業者の方と話し合う機会もあり、お互いの困難事例、その他を学ぶようにしております。又、南谷山地区GH、宅老所で連絡協議会を立ち上げ様々な意見交換をしております。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>II. 安心と信頼に向けた関係づくりと支援</b>					
15		<p>○初期に築く本人との信頼関係</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている</p>	<p>ご家族と電話及び来所され相談がある場合にご本人より困った事、困っている事をよく聞き取り、不安な事は何かを受け止めるように努めています。</p>		
16		<p>○初期に築く家族等との信頼関係</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている</p>	<p>ご家族来所持、又は電話にてよく話し合う機会を設けて、困っている事に傾聴し、ご家族の不安を取り除くよう、機械を設けています。</p>		
17		<p>○初期対応の見極めと支援</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている</p>	<p>本人、家族がサービス利用で一番何を求めているかを本人、家族と十分な話し合いをし、その中から求めているものを見極め、様々なサービス利用（提供）を考慮しています。</p>		
18		<p>○本人と共に過ごし支え合う関係</p> <p>職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている</p>	<p>職員と一緒に調理の下ごしらえをしながら献立を教えて頂いたり、また職員も折紙を教えたりとお互いが協力し合っています。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
19		○本人と共に支え合う家族との関係 職員は、家族を介護される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	ご家族のいろいろな思いを面会時にケアマネージャー、管理者、職員が聞き取り、お互いの悩み事を話し合いながら支援していきます。		
20	8	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	以前、住んでいた地域と離れた人は電話、手紙、葉書等で交流を図るよう支援し、家族の協力も得られています。これまでの生活歴も家族及び本人より聞き取り全員で把握しています。	馴染みの知人・親戚・家族・孫たちの訪問があり、お茶を出してゆっくりできるよう対応している。手紙や電話の取次ぎもしている。美容室は訪問がある。家族の協力で墓参りや受診等に出かけ、馴染みの関係が途切れないように支援している。	
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	施設内での軽体操やレクリエーションの中でお互いに意思の疎通が取れ支えあっています。うまくコミュニケーションが取れない時は、職員がお互いの話を傾聴し、コミュニケーションが取れるように支援しています。		
22		○関係を断ち切らない取り組み サービス利用〈契約〉が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	利用停止していても、ご家族にはいつでも相談に乗れるよう、家族との関係は保っている。又、他施設等移動がある時も受け入れ施設と連携を密にし話し合いもしています。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント</b>					
23	9	○思いや意向の把握  一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	本人の希望、思いを聞き取り利用者本位のケアが出来るよう努めています。ケアマネージャーの下、管理者及びなじみの職員も聞き入れに同席し密に希望意向を聞き入れています。聞き入れ困難な場合はご家族よりお話を聞き入れています。	思いや意向の把握は、昼休み時間や風呂に入った時に声かけして世間話をしながら聞き取りをし把握している。困難な時は家族の協力を得て家族面会時に本人も交えて話し合いを行い、支援している。	
24		○これまでの暮らしの把握  一人ひとりの生活暦や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	これまでの生活歴をご本人、家族から聞き取り、職員全員で把握しています。		
25		○暮らしの現状の把握  一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	一人一人、一日の過ごし方は様々であり、その利用者にあった生活が出来るよう、アセスメントして把握しています。		
26	10	○チームでつくる介護計画とモニタリング  本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	担当者会議又は、スタッフカンファレンスを開催し、本人、家族にも同席して頂き意見を出し合い介護計画を作成しています。	家族が来所した時に、本人・施設長・職員同席で担当者会議を開き、本人や家族の意向を把握して、職員で介護計画を作成している。モニタリングは3ヶ月で行い、見直しは状況に変化があった時、現状に即した介護計画を作成している。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
27		○個別の記録と実践への反映  日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	利用者本人の言葉を用いた記録を行い、本人の思いに気付くよう、職員同士情報を共有しながら見直しをしています。		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化  本人や家族の状況、その時々にも生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	通院支援（病院受診）、自宅帰省、墓参り、本人家族の希望があれば主張マッサージ、鍼等を状況に対応しています。		
29		○地域資源との協働  一人ひとりの暮らし方を支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	ボランティア参加によるレクリエーション、消防避難訓練、文化施設への訪問、地域の町内会長、民生委員から地域の情報や助言を貰っています。又、警察、消防には消防訓練を含めできうるかぎり来園していただくようにしております。		
30	11	○かかりつけ医の受診支援  受診は、本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	利用者本人の心身状況を考慮した医療機関を受診していきながら適切な医療を受けられるようにしていきます。医療機関の受診結果については、ご家族に電話や面会時において口頭での報告と文書での報告を行い、理解が得られるように努めています。	本人・家族が希望する医療機関をかかりつけ医にしている。受診は職員が同行、月1回の往診がある。受診結果は家族に報告している。眼科・皮膚科は家族の協力を得ている。緊急時は医療機関で家族と合流する対応をしている。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		<p>○看護職員との協働</p> <p>介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している</p>	<p>主治医である敬愛クリニックに月一回以上の受診をし、なじみの関係を築き看護職員、介護職員と日常の健康管理をしています。</p>		
32		<p>○入退院時の医療機関との協働</p> <p>利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。または、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。</p>	<p>利用者が入院された後にも病院へ出向き担当医師の説明を受けその情報をもらい、家族の希望に沿えるよう相談にのり、いつでも戻れるように連携しています。</p>		
33	12	<p>○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援</p> <p>重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人や家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる</p>	<p>利用者の心身状況を日頃より報告しており重度化した場合の対応については本人、家族、医療機関と話し合っている。又、家族に対して重度化になった場合の対応に対してアンケートにて回答をもらっています。また、重度化や終末期に向けた対応の指針を作成しています。</p>	<p>重度化や終末期に向けた指針があり、本人・家族・医療機関で話し合っている。重度化した場合の対応について、家族にアンケートをとり回答を貰っている。状況が変化した時には主治医から家族に伝えている。ホームから緊急時の医療機関や特別養護老人ホーム、老人保健施設等の選択肢のあることを説明し、家族の意向に沿って支援している。</p>	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
34		<p>○急変や事故発生時の備え</p> <p>利用者の急変や事故発生時に備えて、すべての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている</p>	<p>医療業務協力を結んでいる医療機関より来ていただき、施設内にて救急蘇生等の研修を行っています。</p>		
35	13	<p>○災害対策</p> <p>火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている</p>	<p>昼間、夜間で想定し避難訓練を行っている。運営推進会議開催の中で災害時には地域住民の方々の協力を得るように働きかけを行っています。</p>	<p>年2回昼夜想定して、消防署立ち合いで避難訓練を実施している。避難経路、避難場所の確認、地域住民も自動通報装置に登録して協力がある。備蓄はデイケアの施設でレトルト食品・缶詰等など一括して用意している。</p>	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援</b>					
36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保  一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	個人情報に関する契約を家族及び職員と取り交わしています。誇りやプライバシーを損ねない声かけ等に対応しています。記録も適切な取り扱いに気を配っています。	マニュアルを作成している。個人情報の契約書を家族・職員と取り交わしている。名前の呼び方は～さんや本人が好きな呼び方、風呂の戸を閉める、入室の声掛け等、勉強会をして誇りやプライバシーを損ねない対応をしている。	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援  日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	常に本人の好みの物、希望することを問いかけ、本人の意思決定を重視しています。		
38		○日々のその人らしい暮らし  職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	日常の流れに利用者を沿わせず、一人一人のペースによって本人の望む生活を支援しています。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援  その人らしい身だしなみやおしゃれができるよう支援している	できうる限り自分の好みの洋服が着れるよう、本人に問いかけ選んでもらっている。散髪や頭髪染め、等々も本人の希望に合わせています。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
40	15	○食事を楽しむことのできる支援  食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	箸の並べ、味見、お茶等、行っている。できない方には職員が手伝っています。	美味しく食事が摂れるように残量を記録し個々の嗜好を把握している。食事の形態にも配慮している。敬老の日、母の日は弁当、おせち料理、誕生会のケーキ等、行事食も楽しみにしている。テーブル拭きや箸を並べたり、できることは職員と一緒に行っている。	
41		○栄養摂取や水分確保の支援  食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	お茶や水は常時飲めるように工夫し食事時は、毎食摂取量をチェックしている。水分補給に関して密に利用者とコミュニケーションをとり、その度に声掛けをし、水分補給しています。		
42		○口腔内の清潔保持  口の中の臭いや汚れが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	歯ブラシを使用しての口腔ケアの自立支援及びポリデント等による義歯洗浄を週1回行っている。		
43	16	○排泄の自立支援  排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている	全員ではありませんが、基本的にオムツを使用せず、下着も布パンツやリハビリパンツを使用してもらっていますが、夜間は立位困難や転倒リスクがあり、トイレにて排泄困難な方はオムツや尿取りパット使用しています。	一人ひとりの排泄パターンを把握し、声をかけてトイレ誘導してトイレでの排泄を支援している。下着も布パンツやリハビリパンツで、夜間はオムツや尿取りパットを使用している。清潔に配慮して用品の種類の購入にも気配りしながら、自立に向けた支援を行っている。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	野菜等、食物繊維の含有を摂るようにし、水分をこまめに取りようにしている。又、軽体操を毎日行い排便確認をして便秘による体調不良を防ぐようにしています。		
45	17	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めず、個々に応じた入浴の支援している	基本的に週2回の入浴とし、月金及び火土と入浴日を定めているが、失禁時、体調不良時を考慮し、その時の利用者に合ったタイミングでいつでも入浴できるよう努めています。	入浴は、週2回を目安にしているが、体調やその日の気分も考慮して柔軟に支援している。失禁時や暑さが続くときはその都度入浴をしている。拒否のある利用者には、数回声掛けをして気分転換を図ってから入浴を行っている。必要に応じてシャワー浴や足浴も行っている。	
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	消灯時間は決まっているが、それぞれ好きな時間に居室に行かれ入眠されている。休憩に関してもご自分の好きな時、休息されています。		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	利用者が処方されている薬の服薬台帳を作成し、職員全員が理解し服薬支援を行っています。又、変化があった場合、主治医と連絡を取り合い服薬支持を仰いでいます。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
48		○役割、楽しみごとの支援  張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活暦や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	できる方には洗濯物たたみ、調理の味の確認をする役割があり楽しんで行われている。歌や踊り等その方々の生活歴、趣味を生かした生活を支援しています。		
49	18	○日常的な外出支援  一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるように支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している。	天気の良い日は散歩に出掛けたり、隣接する同系列のディサービスと合同で園外散歩にもいかれたり、利用者と家族の希望に沿った個別の外出支援も行っています。又、家族の協力を得ながら墓参りや食事等に出掛けるように支援しています。	その日の希望に沿って、外気浴や散歩に出かけ、近くの自販機で飲み物を買ったりしている。年間計画で花見や水族館見物・動物園に出かけている。家族の協力を得ながら墓参りに行ったりしている。玄関先で外気浴やプランターの野菜を収穫したりしている。	
50		○お金の所持や使うことの支援  職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	現在金銭管理のできる利用者がいらっしゃらないので、お金を所持している方はいません。金銭管理のできる利用者がいらっしゃれば、個人の財布をもたれ家族同意の下で管理して頂きます。又、利用者の希望があればスタッフ同行で自由に買い物ができるよう支援しています。		
51		○電話や手紙の支援  家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援している	電話をかけたい希望があれば、いつでも事務所よりかけていただきます。葉書や手紙、年賀状等も書いてもらっています。又、手紙、年賀状も相手の方より頂いています。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
52	19	<p>○居心地のよい共用空間づくり</p> <p>共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱を招くような刺激（音、光、色、広さ、湿度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>天井からの採光や窓からの外の様子から今日の天気がわかり、山からの季節感も感じられます。横にはJRの線路があり電車の音があり生活感も感じられます。ホーム内で生花や季節にあった装飾品を取り入れています。</p>	<p>室温や湿度・換気に配慮がある。台所からは入居者の動きがわかり、食事の準備をしながら会話もできて家庭的な雰囲気がある。掃除が行き届き清潔である。壁には手作りの大きな作品を飾り、季節感がある。ソファでゆっくり寛げる空間があり、居心地よく過ごせるように工夫している。</p>	
53		<p>○共用空間における一人ひとりの居場所づくり</p> <p>共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている</p>	<p>肘掛け椅子が並んでいる所で腰掛け仲良く語ったり、ご自分の居室に招かれベッドの上に腰掛け、お話しされています。</p>	/	/
54	20	<p>○居心地よく過ごせる居室の配慮</p> <p>居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのもをを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>タンスやベッドは備品であるが、他の物は本人の好みの物が持ち込まれタンス、ベッドの位置も家族と話し合いながら自分が居心地よいように工夫されています。</p>	<p>居室はタンス・ベッド・エアコンが設置してあり、家から持ち込まれた家族写真・時計・布団・衣装掛けが置かれている。家の部屋のように工夫がされて、居心地よく過ごせるように配慮されている。</p>	
55		<p>○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり</p> <p>建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している</p>	<p>フローア前面に手摺を設置し、段差なくバリアフリーとなっています。トイレ、風呂場、浴槽にも手摺を設置しており自立できようように工夫しています。</p>	/	/

## V アウトカム項目

56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。 (参考項目：23, 24, 25)		1 ほぼ全ての利用者の
		○	2 利用者の2/3くらいの
			3 利用者の1/3くらいの
			4 ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が一緒にゆったりと過ごす場面がある。 (参考項目：18, 38)		1 毎日ある
		○	2 数日に1回程度ある
			3 たまにある
			4 ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。 (参考項目：38)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿が見られている。 (参考項目：36, 37)		1 ほぼ全ての利用者が
		○	2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない

60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている。 (参考項目：49)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている。 (参考項目：30, 31)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により安心して暮らせている。 (参考項目：28)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている。 (参考項目：9, 10, 19)	○	1 ほぼ全ての家族と
			2 家族の2/3くらいと
			3 家族の1/3くらいと
			4 ほとんどできていない

64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目：9, 10, 19)	○	1 ほぼ毎日のように
			2 数日に1回程度ある
			3 たまに
			4 ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている。 (参考項目：4)	○	1 大いに増えている
			2 少しずつ増えている
			3 あまり増えていない
			4 全くいない
66	職員は、生き生きと働いている。 (参考項目：11, 12)	○	1 ほぼ全ての職員が
			2 職員の2/3くらいが
			3 職員の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う。	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。	○	1 ほぼ全ての家族等が
			2 家族等の2/3くらいが
			3 家族等の1/3くらいが
			4 ほとんどいない